

令和2年大磯町議会

12月定例会一般質問（12月8日・9日）

質問議員	質問事項（１日目）	答弁者
1 3 番 竹内恵美子議員 （ 60 分 ） 9：05～10:05	1. 公立幼稚園の認定こども園化について 大磯町では、平成 25 年の「サンキッズ大磯」から始まり、「もあなこびとのこや」「あおぼと」「サンキッズ国府」の新設など待機児童対策を実施してきました。 しかし、ここ数年、待機児童が 0 になることはなく、「第 2 期大磯町子ども笑顔かがやきプラン」の中で幼保連携型認定こども園への移行を計画しているが、保育の受け皿となる施設を拡充する必要があるのか。 また、既存の公立幼稚園を認定こども園化する必要があるのか伺う。 2. 大磯町立中学校給食の再開に向けて （1）中学校給食の再開に向けて、すでに、町として自校方式で進めることが決定され、その後、今年度に入り、大磯町立中学校給食施設建設準備会などにより議論を重ね、大磯中学校、国府中学校それぞれの中学校の敷地内の建設候補地も決まったと思うが、現在の進捗状況は、どのような状況か。 （2）今後、どのようなスケジュールで進めていくのか伺う。 3. 国府橋の改修工事の進捗状況について 幹線 21 号線の道路整備事業として、馬場公園から国府支所までの区間を、平成元年から整備に着手し、その後、台風の影響で不動川の氾濫があったり、甚大な被害があったりした。そのため、川幅を 10 メートルから 16 メートルに広げるため、現在の橋を壊して新たな橋を整備する必要がある。 現在の橋の幅(車道)は 4 メートル、片側歩道は 2 メートルを、車道 6.5 メートル、歩道は 2 メートルずつで、合計 10.5 メートルに広がる計画だが、最近少し変化が見られたので進捗状況を伺う。 （1）現在地権者との話し合いはどのようなか。 （2）今後どのようなスケジュールで進めていくのか伺う。	町 長 町 長 教育長 町 長
2 8 番 奥津 勝子議員 （ 40 分 ） 10:20～11:00	1. 性的少数者（L G B T）への町の方向、考え方は 性的指向や性自認の多様性が尊重される時代に入った。社会の空気は変わりつつある。個々の生活の場が安心できるものになるよう、周囲の理解を深める取り組みを町は進めなくてはならないと思う。 （1）第 3 次大磯町男女共同参画推進プラン（素案）に実施事業として「様々な性に対する、理解、教育、啓発」とあるがそれぞれの進め方は。 （2）性の多様性を認め合うことで、誰もが「自分らしく」生きられる社会の実現に取り組むともあるがその具体性は。	町 長

	2. 災害時のペットへの対応について 今、家族同然となっているペットの避難所での受け入れが、今年の台風15号、19号が起こった時大きな課題となった所もある。そこで伺う。 (1) 本町での避難所での同行避難の現状は。 (2) 風水害時に飼い犬や猫などを無料で預かることを横浜市獣医師会が先進地として9月からスタートしたが、町から獣医師に働きかけお願いをすることは出来るか。	町 長
3 6 番 吉川 諭議員 (45 分) 11:15~12:00	1. 大磯町の目指す幼児教育・保育の将来像について 町はこれまで町立幼稚園・保育園の計3園をそれぞれ民営の保育園・幼稚園・幼保連携型認定こども園へと移行してきた。今後も保育需要の増加が見込まれる中、令和6年に待機児童ゼロを目指し、さらに1つの町立幼稚園をこども園化することを「第二期こども笑顔かがやきプラン」に盛りこんだ。その後福祉文教常任委員会において、大磯幼稚園を民営によりこども園化する方向性が示された。以下の点につき、町長及び教育長の見解を伺う。 (1) 「子育てで選ばれる町！おいそ」を町は掲げるが、大磯らしい子育てを可能とするために、幼児教育・保育サービスの提供における町営／民営の割合はどの程度が望ましいと考えるか。 (2) 大磯幼稚園を幼保連携型認定こども園化することで財政負担が軽減されるとの説明があったが、町立にした場合と私立(民営)にした場合でどのように試算するか。 (3) まずスケジュールを前倒しにして町立幼保連携型認定こども園へと移行し、必要があれば民営に移行する案も検討するべきではないか。	町 長 教育長
4 7 番 鈴木たまよ議員 (60 分) 13:00~14:00	1. ごみ削減に向けてこれからの町の政策について 世界規模で大きな問題となっている地球温暖化について、私たち一人一人でもできることがある。その一つにごみの削減がある。 そもそも、ごみ削減の目的は何か。それは地球温暖化につながるCO2を削減することである。 またプラスチックごみについて、リサイクルすればいい、という考え方もあるが、リサイクルは商品化にコストやエネルギーを必要とするため、CO2の削減にはあまり貢献しないと私は考える。 ごみの削減は文字通り、ごみを出さないことが最も効果的である。 町もこれまで色々と施策を取ってきたと思われるが、加速する地球温暖化のために、町も加速度的にごみの削減に力を入れるべきではないかと考える。 以下について町の考えを問う。 (1) 全般的な今後のごみ削減に向けての町の政策 (2) 容器包装プラスチック削減の取り組み (3) ごみの資源化 (4) 町の公共施設の自動販売機のあり方 (5) Oiso Connect (大磯港賑わい交流施設) のプラスチックフリー化 (6) 子どもたちへの教育を通じて教育現場におけるごみ削減の取り組み	町 長 教育長

5 9 番 二宮加寿子議員 (55 分) 14:20～15:15	1. 大磯町生涯学習推進計画の策定について 現在策定中の生涯学習推進計画は総合計画やまちづくり基本計画と同様に計画期間が 10 年間となる。 計画の中でも、計画期間を見ても大変重要な位置づけとなる計画と思われるが、その策定過程などについて伺う。 (1) 新たな計画を 10 年とした理由及び現在進行中の 8 年間の計画をどのような P D C A サイクルのもとに検証を行い計画に反映させたのか。 (2) 町の生涯学習の根本となる計画であり、町民等にとっては、その方向性や具体的取組みなどは大変重要となると思われるが、町民意向や意見などをどのように把握し、計画に反映されるのか。 (3) 生涯学習には学校教育、地域、歴史文化、健康、高齢者、環境など幅広い分野が関連すると思われるが、他の部署での取組みなどの連携などが図られた計画になっているのか。	町 長 教育長
6 12 番 飯田 修司議員 (60 分) 15:35～16:35	1. 本年 2 月上旬に法面が崩落した県道 610 号大磯停車場線通学路の整備計画の動きは (1) 本年、8 月提出の神奈川県への要望内容に「県道 610 号大磯停車場線の道路拡幅について」とあるが。 ① 町民の願いは、町所有の一部崩落した法面部分の安全確保であり、国道 1 号線から大磯駅前までの道路拡幅など望んでいないが。 ② 「車道の湾曲部の車道の狭さと歩道の狭さの解消と法面の安全確保」に集中して要請すべきであると思うが。 ③ 先日、11 月 13 日の「総務建設常任委員会協議会」の説明資料「駅前広場の概略計画図 A 案」が発表されたが、町民説明会を 2 か月後に予定しているが、ぜひ崩落した法面部分まで入れた計画図に替えてほしいが。 2. 新庁舎を条件の悪いこの地に建て替えをするのか (1) 庁舎建て替えの用地の件は、30 年前より話題になり、ずっと候補地を探してきた。 14 年前には滄浪閣を 20 億円で買い取り、複合化により 1 ケ所に町の施設を集中して市街地の土地を後に売却した金を充当することによって、町民の生活向上に役立つ計画予定であったはずである。大磯町は広大な土地に庁舎を建て替え、複合化により町の発展を図ろうとしないのか。 5 年前、中崎町長は滄浪閣を買取ろうとしなかったのか。 現庁舎建て替えの問題点を問う。 ① 狭くて複合化できない。(保健センター、消防署、図書館、小ホール、大駐車場、備蓄倉庫) ② 土地の形状が悪い。敷地に囲まれたところに葬儀場がある。 ③ 災害時の避難場所、災害対策本部機能、応急活動等に適さない。 ④ 町民は災害時、一番津波が怖い、南側、海側の駐車場に近寄れない。	町 長

	⑤ 地盤が弱い。 ⑥ 塩害がひどい。(車を5年リースで取り替えへ) ⑦ 高層化は近隣住民の許可が得られない。	
質問議員	質 問 事 項 (2 日 目)	答 弁 者
7 10 番 渡辺 順子議員 (80 分) 9:00~10:20	1. 新型コロナウイルスの影響と来年度予算編成方針に向けて問う 先般配布された、「令和3年度の当初予算の編成方針」によれば、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年度の歳入総額は町税収入の減少などにより92億4,900万円、歳出は社会保障関連経費や公共施設等の老朽化に伴う普通建設事業や公債費の増加、感染症対策への対応のため98億700万円で5億5,800万円の財源不足が見込まれるとのことであった。費用対効果を検討したうえで事業の優先順位付け、抜本的な見直しを検討するとのことである。新型コロナウイルスの影響や来年度予算編成方針に向けて問う。 (1) 新型コロナウイルスの影響による経済回復までの期間をどの程度に見込んでいるか。 (2) 消費行動のダメージ、企業収益の低下、雇用状態悪化に対する町独自の予算付けは。 (3) 大磯町の感染者も徐々に増えているがこれまでの検査数と陽性率、入院・重症者など現状はどのようなか。職種による検査体制の拡充は必要ないか。 (4) 生活様式の変化でDVや児童虐待などが増加していると聞いているが本町の状況はどうか。 (5) 事業の整理・統合・見直しにより既存の人員体制の中での業務遂行を基本とするとのことだが、事業数が増加している中で無理はないか。大磯町定員適正化計画の見直しは。 (6) 中学校給食、大磯幼稚園の認定こども園化、大磯駅前広場計画、災害対策、公共交通など住民生活に直結した事業の優先度をどのように決定するのか。 (7) 政府は「2050年カーボンニュートラル宣言」、神奈川県は「かながわ気候非常事態宣言」を行った。気候変動への対策は急務である。環境政策や「大磯町地球温暖化対策実行計画」の見直しは。	町 長 教育長
8 2 番 石川 則男議員 (80 分) 10:40~12:00	1. 町民の細やかな要望にどう応えるか (1) 東町3丁目バス停の移設について進捗状況を問う。 (2) ふれあい会館のトイレ洋式化について進捗状況を問う。 (3) 聴覚障害者の手話通訳者設置要望について現状及び同規模自治体の状況を問う。 2. 富士見地区の公共交通について (1) 富士見地区の公共交通について7月アンケート調査結果及び2回のワークショップの結果は出ているか。 (2) 結果が出ているのであれば当該地区の住民は結果報告をしてほしいと要望しているが如何か。	町 長 町 長

	3. 消防団員の出動手当の見直し状況について問う (1) 9月の答弁では出動手当は低いとの答弁があったがどの様に見直す考えか。 (2) 参考にした自治体はあるのか。 (3) 参考にした自治体では出不足料や寄附金を町内会からとっているか。 (4) 大磯の12個分団が来年度出不足料や寄附金を集めたりもらったりしないようどのように対応するのか。 4. 間違った答弁は訂正が必要と考えるが如何か (1) 私が行った令和2年3月の総括質疑において待機児童解消に向けた取り組みとして、町長はサンキッズ大磯の定員を令和2年度に5名、令和3年度に3名増やすと答弁した。答弁の後子育て支援課に確認したところ、これは間違いでサンキッズ国府のことであった。会期中に訂正するよう子育て支援課に指摘したがなされなかった。 人間のすることであり誰でも間違いはある。間違いを指摘されたら訂正することが重要と考えるが訂正する考えはあるか。 (2) 会期の最後に議長が「会期中に不穏当な発言がありましたら後日会議録を調製の際、これを善処いたします。」と発言しているがそのため訂正をしなかったのか。事実会議録では訂正されていた。	町 長
9 15 番 柴崎 茂議員 (80 分) 13:00～14:20	1. 再度問う。町は義務教育学校への登下校の安全を真剣に考慮しているか 町は、私が主張する、交通上の問題をどのように認識しているか。 ほとんど何も変わらないと言ってもよい現状は、本当に不思議でならない。いっその事、押しボタン信号を取り払い、ただの横断歩道にした方がまだ始末がよい。警察は何を考えて交通行政を運用しているのか。大磯署の日原修警察署長と高橋洋交通課長の職務怠慢を公務員の処分対象として、警察本部へ訴えるべきと考えるがいかがか。 2. 1人暮らしの高齢者に、町はどのようにかかわるつもりか 10月、全国一斉の国勢調査が行われた。おそらくこのデータ分析の公表を待つまでもなく、ぼんやりとでも道筋を示し、団塊の世代（昭和22年～24年生まれ）が2025年に後期高齢者になる前には、町は一定の路線を示すべきと考える。11月5日の福祉文教常任委員会協議会で3年毎に改定する「大磯町高齢者福祉計画」の第八期に2021年4月から入るとの報告があった。今議会が終わればあと3か月しかない。第八期からの計画は大筋として何期も継続することが予想され、高齢者だけでなく、いずれ自身の事として多くの町民に納得される事が必要となる。基本となるデータを根拠にすれば、医師である町長には、守らなければならない基本方針は、既に存在していると考える。第八期計画を間違いのないものにする為にも、高齢福祉行政の問題点を示し、あわせて解決策を提示せよ。	町 長

10 13 番 玉虫志保実議員 (60 分) 14:40~15:40	1. 西小磯の町営住宅跡地について 西小磯の J R 北側は公園の空白地になっているため「町営住宅跡地を公園にできないか」という要望が平成目安箱に何度か寄せられているのを目にしている。平成目安箱の町民要望に対しての町からの回答は「売却する」の一点張りである。 そこで質問する。 (1) 平成 25 年の平成目安箱への回答では西小磯の J R 東海道線より北側は公園整備の必要性の高い地域となっているため、公園整備を図りたいと考えているとも回答しているが、町営住宅跡地を公園用地としない理由は。 (2) 売却対象の町営住宅跡地の約 3 分の 2 はハザードマップで土砂災害警戒区域に指定されている。そのような土地を宅地用地として売却するのか。 (3) 平成 25 年の平成目安箱では、児童公園の整備に対しても整備に膨大な経費と時間を必要とするため、計画通りに進んでいないと答えていた町だが、明治記念大磯邸園内の町管理の広大な緑地の管理ができると考えている現在の町にとっては、町営住宅跡地を公園にすることは容易いことではないのか。避難場所、延焼防止空地として重要な役割を果たす土地と考えるが。 (4) 売却して町の財源に充てるよりも町の将来を考えた時に、公園里親制度を利用し、子どもを巻き込んで、地域で育て管理していく地域のコミュニティの場としての公園として生かしていく方が望ましいとは考えられないか。 2. 大磯町役場本庁舎整備について 9 月議会最終日に発足の新庁舎建設等特別委員会での調査から現庁舎敷地内に新庁舎を建設するという事について納得できないことが多い。 そこで質問する。 (1) 3 候補地の中から決めたと言うが、町所有の土地なので購入費が生じないというだけではないのか。現敷地内の土地は庁舎建設にふさわしい土地といえるのか。 (2) 平成 12 年に本庁舎建設基金を設置し、新庁舎建設までの応急処置的な耐震補強工事を平成 13、14 年に行っているが、平成 28 年まで庁舎建設の話が出てこない。その間に基金もほとんど積み立てていない。補強工事前には職員のほぼ 100% が建て替えを望んでいたようだが、補強工事で対応。それから、ほぼ 20 年経過している現庁舎は安全に働ける場所なのか。 (3) 令和 7 年の完成までの職員・町民の安全を考えると、I s 値の高い国府支所や生涯学習館などに役場機能を分散した方が良いと考えるが。特に災害対策本部機能は現庁舎にあっても役に立たないのでは。 (4) 大磯町の未来を考えると、維持管理が必要な公共施設は減らせるならば減らすべきと考える。学校については長寿命化というが、中学校と小学校の給食施設問題等の解決からも大磯地区では新校舎を建設	町 長 町 長 教育長
--	---	-------------------------------

	し、小中学校を中学に集約し、現在の小学校を役場にするということも考えられるのではないかと思います。	
11 1 番 鈴木 京子議員 (80 分) 16:00～17:20	1. 東海大学医学部附属大磯病院の存続について 病院の存続に関する声が届き続けている。救急医療をはじめ、大磯町や近隣自治体にとってなくてはならない医療機関と考える。 心配を払拭するために、町として意向確認をする必要があるのではないかと。また、存続の手だてを構築する必要があると考えるがどうか。 2. 来年度予算編成方針について 新型コロナウイルス感染症の影響の元での編成が進んでいると推察する。財源不足の補い方、優先順位のつけ方について問う。 また、公共施設のあり方に対する予算計上についてはどうか。 3. 大磯町職員の第 5 次定員適正化計画について 今年度中の策定が求められる第 5 次定員適正化計画の内容と進捗状況を問う。 また、第 4 次の計画にある定員適正化の方策についてどのような対策を取り、どう評価するのか。働き方改革につながっているのか。職員の意見のいかし方についても、合わせて問う。	町 長 町 長 町 長

11 名 22 問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。